

一年を振り返り、平和を考えよう！！

今年も12月8日になり、後三週間ほどを残すばかりとなりました。

12月8日は、昨年12月8日発行の「Point」でも取り上げましたが、70年前の1941年12月8日、当時イギリス領であったマレー半島のコタ・バルでの英印軍との交戦（マレー作戦）、続いてハワイのアメリカ軍基地への攻撃（真珠湾攻撃）が行われ、大東亜戦争（太平洋戦争）が始まった日です。また、1980年12月8日には、9・11テロ以降、放送禁止・放送自粛にもなったと言われている名曲「イマジン」で人類の平和を願っていたジョン・レノンが凶弾に倒れ、死亡した日でもあります。

この2つのことが12月8日にあったのは単なる偶然に過ぎないでしょうが、私たちが平和を希求する上で忘れてはならない日であり、年末の慌ただしい時期ではありますが、平和を愛したジョン・レノンの冥福を祈るとともに平和について一年を振り返り、平和を考えるよい機会でもあると思います。

さて今年一年はどうだったでしょう？

ほぼ一年前の昨年12月18日チュニジアで始まった「ジャスミン革命」をはじめとして「アラブの春」と言われる反政府デモ・抗議活動がアラブ諸国で起き、比較的平和的に政権が変わった国もありますが、一方でリビアのように内戦になって大変多くの人命が失なわれたり、シリアのように武力で抑えこむ強硬手段を続けたため、内戦に突き進もうとしている国もあります。

そして、5月にはアメリカ軍によって9・11テロの首謀者とされてきたテロ組織アルカーイダの指導者ウサーマ・ビン・ラーディンが殺害されました。しかしイラク・アフガニスタンなどではテロは止んではいません。

このように世界では尊い人命を失う争いは現在もなくなっていないません。

一方、国内に目を向けると、今年は3・11東日本大震災そして福島原発事故があまりにも大きな出来事であったため、平和に関する話題があまり無かつようにも思います。しかし、実際には震災復興の陰で色々な動きがありました。

その一つが9月に民主党前原政調会長がアメリカ・ワシントンで開催された日米同盟に関するシンポジウムで「武器輸出三原則」の見直し論を展開したことです。また、この時にはPKOでの武器使用基準見直しについても言及しています。

そして最近では、11月17日衆議院で、11月28日参議院でも憲法審査会が2007年設置以来初となる審査会を開きました。長い間休眠状態であった憲法審査会が動き出した背景には民主党のねじれ国会に対する国会対策があるとも言われており、正に震災復興のどさくさにまぎれて党利党略だけで憲法改悪しようとする動きに写ります。このように一見平和に思われる日本でも平和を脅かしかねない動きがあるのが現状です。

私たちは、私たち世代だけでなく、子、孫、次の世代に平和な社会を引き継いでいかなければなりません。そのために社会情勢を注視し、平和を脅かす動きには反対の取り組みを強力に展開していかなければなりません。